

米山知事の辞職は大変残念でした。しかし、この問題と原簿再稼働とは別の問題です。これからも市民と野党の共同を継続・発展させ、再稼働に反対する声を上げ続ける必要があります。

# マイナンバーの記載なければ差し戻しとの姿勢に 新潟労働局と交渉、大きな成果を挙げる

## ハローワークへの 雇用保険届出

ハローワークでは5月から、雇用保険被保険者資格取得届・同資格喪失届等にマイナンバーの記載がない場合は書類を返戻する（差し戻す）との動きを全国的に強めています。加藤勝信厚労相が日本共産党・倉林明子参院議員の質問に対し、「本人がマイナンバー提出を拒否した場合、記載がなくても受理する」と答弁した内容を記載しないチラシを作成、周知していました。

これを受け、全商連では数回にわたり厚労省と交渉、新商連（県連）でも4月23日、新潟労働局と交渉を行いました。先方の要請（会場スペースの都合との事）により、こちらの交渉参加人数は4人まで（交渉直前、6人に変更）と事前に制限されました。長岡民商からは監物会計（配管・西長岡）と事務局星野・金内の2人の計3人が行動に参加し、交渉には監物会計が青木県連事務局長らとともに入りました。

交渉の結果、次の回答を得ました。

- ①従業員がマイナンバーの提供を拒否した場合、記載がなくても届出書類を受理する（厚労相の答弁通り）。その際、提供の拒否を証明する書類等の提出は求めない。
- ②労働保険事務組合については、マイナンバー制度に関する規定がない場合、9月30日までは記載がなくても受理する。

以上①、②について、県内のハローワークに通達する。

特に②について、記載強要を先延ばしできずたことは交渉の大きな成果です。長岡民商にはマイナンバー制度に関する規定はありません。「9月30日までに規定をつくらない」という場合、労働保険事務組合の資格を取り消すのか」という監物会計の質問に対し、労働局は「そこまではしない」と回答。県内各民商が従来同様の



姿勢で臨めば、10月1日以降の取り扱いについて、再び交渉の対象となります。厳重な取り扱いを求められ、中小事業主に重い負担を強いるマイナンバー制度。番号の管理は非常に困難です。政府は利便性をアピールしますが、情報の漏えいに国民の不安は大きく、カードの取得は1割ほど。制度の目的は、預金通帳等とひも付けして国民一人ひとりの資産を把握し、課税を強化することです。これからも反対の大きな声を上げ続けましょう。

### 県婦協第37回総会 笑顔と熱気で満ちあふれる

4月22日（日）、新潟市にて新商連婦人部協議会（県婦協）第37回定期総会が開催され、長岡民商から片桐ミサさん（和紙・小国）、樋口信子さん（設備・小国）、長谷川重美さん（書籍販売・東）、担当事務局・金内の4人が参加しました。



家庭教育専門家の熊丸みつ子さんによる記念講演では、ユーマアタっぶりの痛快なお話、大きな笑い声が絶えませんでした。

午後に関われた総会では各民商婦人部の代表発言などが行われ、帰途は「集まりを開こう」「楽しいことをしたいね」など、今後の活動について話し合いました。笑顔と熱気で満ちあふれた、とても暑い（熱い）一日でした。

**次回は5月9日（水）のお届けです**

連休中の印刷・輸送事情により、今回の商工新聞は、5月9日（水）以降のお届けとなります。よろしくお願いたします。

